

猛暑・酷暑を乗り切る 石灰の追肥

梅雨が明け、猛暑・酷暑の夏がやってきました。今年も懸念されるのが高温や乾燥の影響による、果実の肥大不足や落果・落葉、過熟障害、日焼け等、障害の発生です。

高温対策についてはタキニュース 10月号に掲載予定ですので今回は乾燥対策を紹介します。

1. 乾燥と石灰欠乏

夏の乾燥で問題となるのが石灰の吸収不良です。果実や葉中の石灰が不足するとエチレンが制約を受ける事なく作用し、細胞の成熟や老化が進みます。その結果、モモの日持ち性の低下やナシの過熟症など果肉障害の発生、また果梗や枝梗(果実や葉と枝をつないでいる軸)の老化により、落果や落葉が問題となります。

そこで今からでも間に合う“石灰の追肥”で収量や品質の安定・維持に繋げて下さい。

2. 石灰の追肥

ライムショットの散布

石灰は吸収されにくく、植物体内を移動しにくい性質があります。そこでおすすめするのが「ライムショット」の葉面散布です。

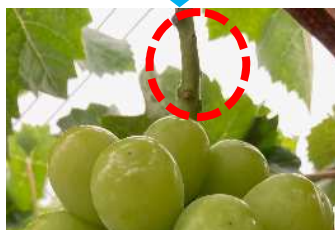
ライムショットは吸収のよい石灰で、老化防止や日持ち性が向上します。

また葉が立葉型となり受光体勢が向上することで、糖度など品質の向上につながります。ライムショットはマルチシトレハロースシロップを含んでいるため、養分吸収の促進や保湿性高まることで果実や葉が瑞々しくなり、落果や落葉の防止につながります。



果梗が老化し
茶色に変色

ライムショット
の散布で



果梗の老化を抑制
日持ち性が向上



○ライムショット:1,000倍5日おきに4回散布 果粒軟化期～

マグホスの施用

石灰欠乏は土壌中に石灰が残存していても根域の不良や根痛みなど、根の活性が低下することでも発生を誘発します。

特に保水性が低い砂地や裸地、傾斜地ではこのような傾向が強いです。

そのため作物の根群の充実が欠かせません。

マグホスのリン酸は肥効に優れ、根の活性に有効です。また苦土や石灰の供給により葉や果実が充実します。特に根域の充実は来年の初期生育に欠かせない貯蔵養分の生成や貯蓄の向上にもつながります。

○マグホス:60kg/10a 8月



【公式 YouTube チャンネル (肥料の寺子屋)】 チャンネル登録をお願いします。🕶️

